



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～“環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

市では、打越台環境センター(精華町内)に代わる新たなごみ焼却施設として“環境の森センター・きづがわ”(鹿背山地内)の建設に取り組んでいます。

打越台環境センターは、今年で運転開始から38年目となります。定期的に整備をしていますが、経年に

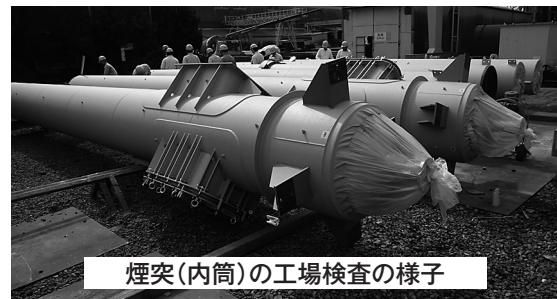
よる劣化が著しく、補修工事もおこない施設を維持しています。このような状況のなか、“環境の森センター・きづがわ”的完成(平成30年9月末)を目指し、工事を進めています。

今月は、9月の建設工事についてお伝えします。

建築工事では、プラットホーム床面のコンクリート打設や建物の外壁工事をおこないました

9月の建築工事では、プラットホーム部分の床面のコンクリート打設をおこないました。ごみピット部分では、外壁の取り付け工事も進んでいます。

工場検査では、煙突内筒の検査をおこないました。煙突内筒の排出口は、地上から約59mの高さです。新施設の焼却炉は2基ありますので、それぞれに1本の内筒を整備します。煙突(外筒)の中には、2本の煙突内筒のほかに点検用の階段・足場などが收まります。



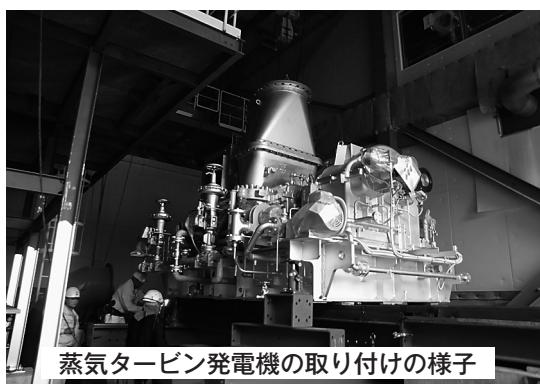
煙突(内筒)の工場検査の様子

蒸気タービン発電機などの取り付け、蒸気復水器の工場検査をおこないました

プラント工事では、8月に工場検査を実施した蒸気タービン発電機や脱気器の取り付けをおこないました。

脱気器とは、水に含まれる酸素や炭酸ガスがボイラやその配管を腐食させる原因となるため、それらを取り除くための機器です。

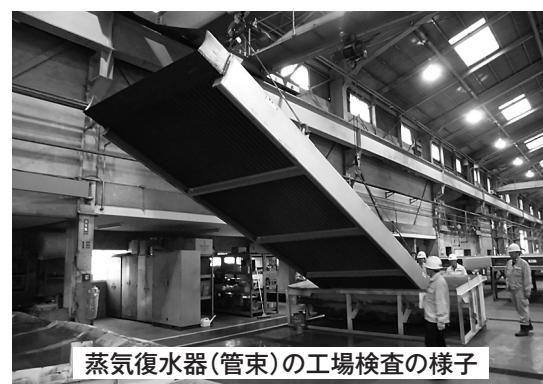
また、工場検査では、蒸気復水器の検査をおこないました。蒸気復水器は、蒸気タービン発電機の動力に使用した蒸気を冷却して水に戻す機器です。



蒸気タービン発電機の取り付けの様子

この水は、再びボイラに送られて加熱されます。蒸気復水器で蒸気が水に戻るときに機器内の圧力が急低下するので、この気圧差を利用してタービンの回転効率を上げることができます。

プラント機器の搬入に際しては、道路沿道の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



蒸気復水器(管束)の工場検査の様子

“環境の森センター・きづがわ”的早期稼働に向けて、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

クリーンセンター建設推進室 ☎ 75-1226 fax 72-3900 ✉ clean-center@city.kizugawa.lg.jp